

2022 年 1 月～

常勤医師のご紹介

通院されている皆様にとって
家族以外のもう一人の味方で
ありたい

かもしたけいこ 鴨下 桂子 先生

丁寧。誠実に。

鴨下先生が大切にしていることは？

治療に通われている皆様にとって家族以外のもう一人の味方でありたいと思っています。

生殖医療は、子供が欲しいという、とてもパーソナルな事柄に関わる分野なので、医学的に正しいことが、必ずしもご夫婦にとっての正解ではないこともあります。医学的な知識を分かりやすく説明することを心がけますので、しっかり理解されたうえでご夫婦が決断されたことは尊重して応援したいと思っています。

また、不妊治療の分野は『妊娠』というすべては解明されていないことに対して結果を出そうとする難しい分野です。うまく行かなかった時も理由が特定できないことが多いことは、患者さんの最大のストレスであり、私たち医療者も苦しむところだと思います。悩みが深い分野だからこそ、丁寧に誠実に診療にあたりたいと考えています。

はらメディカルでしたいことは？

生殖医療専門医として、またがん・生殖医療の臨床経験を積む中で、医療の技術や知識とは少し別のところにある「家族形成」というテーマの重要性にも気が付きました。

不妊治療は、家族を作るための一つの手段です。タイミングでも体外受精でも非配偶者間の治療（卵子提供や精子提供）でも。また、特別養子縁組も同様に家族を作る手段です。はらメディカルクリニックには、ここでしか出来ない治療がたくさんあります。家族を作るための多くの選択肢がある中、それぞれのご夫婦が自分たちらしい決断が出来るお手伝いをしたいと考えています。

宮崎院長からひとこと！

鴨下先生はがん・生殖医療という専門をお持ちです。がん治療を優先しつつ、将来の妊娠に向けて卵巣凍結や卵子凍結、胚凍結を実施したり、がん治療後の妊娠に取り組む分野です。より難しい局面の生殖医療を行なってきた経験と知識を存分に当院で発揮して頂けたらと思います。

鴨下 桂子（かもしたけいこ）

医学博士
日本産科婦人科学会 産婦人科専門医
日本生殖医療学会 生殖医療専門医
日本がん・生殖医療学会認定 がん・生殖医療ナビゲーター

専門
産婦人科全般
不妊治療、腹腔鏡手術、がん・生殖医療

略歴
2007 年 東京医科大学医学部医学科卒業
2009 年 東京慈恵会医科大学 産婦人科教室に入局
2010 年 東京慈恵会医科大学 産婦人科教室 助教
2012 年 東京慈恵会医科大学附属病院 生殖医療センター
2014 年 聖マリアンナ医科大学産 婦人科教室に国内留学し、
卵巣組織凍結、がん・生殖医療の臨床及び基礎研究に従事
2016 年 東京慈恵会医科大学附属病院 生殖医療センター
がん・生殖医療外来
2020 年 国立がん 研究センター東病院 がん・生殖医療外来専任
2021 年 9 月 はらメディカルクリニック非常勤
2022 年 1 月 はらメディカルクリニック常勤、国立がん研究センター東病院非常勤

著書
誰も教えてくれなかった卵の話（集英社、2014 年）
妊娠・出産のリテラシー（大修館書店、2018 年、共著）

好きなもの
油そば（東京麹珍亭）・川崎ニュートンタンメン・
スナック菓子（特に湖池屋）・ハロウィン・クリスマス

得意なこと
水泳・書道

苦手なこと
料理・水泳以外の運動

2022 年 1 月以降の診療体制

月	火	水	木	金	土
宮崎 山本	宮崎 竹本	宮崎 鴨下	宮崎 鴨下	鴨下	宮崎 鴨下 曾根原